

2026年

秋号

出会い、つながり、広がる 笑顔

ボランティアコミュニケーション

今号のトピックス

みんなが主役☆地域の輪
見て・聞いて・やってみるボランティア×福祉学習

おおた
広がれボランティアの
つどい
2026

問合先

社会福祉法人 大田区社会福祉協議会

おおた地域共生ボランティアセンター

TEL.03-3736-5555 FAX.03-3736-5590

〒144-0051 大田区西蒲田7-49-2 大田区社会福祉センター5F

開所時間：(月)～(土) 8:30～17:15 《日曜日・祝日・年末年始を除く》

メール：voc@ota-shakyo.jp



おおた広がれボランティアのつどい2026 開催

参加費無料

手話通訳あり

みんなが主役☆地域の輪 見て・聞いて・やってみるボランティア×福祉学習

主催：社会福祉法人 大田区社会福祉協議会 共催：大田区



SNSやAIの発達により、世界中の出来事や、誰かの困りごとの情報があっという間に広まる時代になりました。一方で、「大変だな」と思いながらも、自分の暮らしとは切り離して受け止めてしまうことも増えています。だからこそ今、わたしたちの地域で「福祉を自分ごととして考える」ことが大切になっています。福祉学習は、特別な人のための勉強ではなく、「ふだんのくらしのしあわせ」をみんなで考え、行動するための学びです。子どもも大人も一緒に学び、気づき、ボランティアなどの小さな一歩を重ねていくことで、「おたがいさま」と言い合える安心のまちを育てていきませんか。



開催日時

令和8年

10月24日(土)

13時30分～16時30分 (13時 開場)

- スケジュール
- 13:00 開場
 - 13:30 オープニングアクト 特技ボランティア演技
開会あいさつ
 - 13:45 第1部 基調講演
 - 14:50 第2部 活動紹介・交流
 - 16:30 閉会

会場

大田区民ホール アプリコ
地下1階展示室
(蒲田5-37-3)

申込み

Googleフォームから、
またはFAXにて申込



▲申し込みフォーム

締切り

10月19日(月)

基調講演

地域における
「ボランティア」と「福祉学習」の必要性
～まちを良くするチカラを学ぶ～

中部学院大学 人間福祉学部 人間福祉学科 教授
日本地域福祉学会 理事

さ こう まなぶ
講師 佐甲 学 氏



会場アクセス



・JR京浜東北線 東急多摩川線・池上線「蒲田駅」東口から徒歩約3分
・京浜急行線「京急蒲田駅」西口から徒歩約7分

オープニングアクト

～特技ボランティア演技～

活動紹介・交流

～登壇者紹介～

楽笑一門会

「南京玉すだれ」を披露します。(会については7ページをご覧ください)
この日のためのパフォーマンスをお楽しみください!



Cleanup&Coffee Club 池上

池上地区で、ごみ拾いとその後のコーヒータイムを通じて、地域住民同士のつながりを育む活動を続けています。まちをきれいにするだけでなく、一緒に作業する時間の中で自然に生まれる会話や交流を大切にしている取り組みです。今回は代表の永池さんに、活動を始めたきっかけや続ける原動力、地域で生まれている変化についてお話しいただきます。



こども食堂『まほろば食堂』

大田区には、こども食堂が74か所(R8.9.1現在)あります。羽田地区のまほろば食堂は、経済的事情や家庭環境などにより孤立しがちな子どもたちに、安心して食事ができる場や学習支援の場を提供しています。代表の南部さんは、関係機関と連携しながら、地域でこどもを見守る体制づくりにも力を注いでいます。アートや工作を取り入れた日々の活動を通して、こどもたちが温かな交流の中で安心して過ごしている状況や地域とのつながりについてお話しいただきます。



心のバリアフリーすすめ隊

大田区手をつなぐ育成会の会員で構成される心のバリアフリーすすめ隊は、知的障害の特性を地域の方々に知っていただくための活動を行っています。日ごろの活動紹介に加えて、知的障害のある方への理解を深める疑似体験を実施し、ちょっとした工夫や配慮で、だれもが安心して暮らせる地域づくりにつながることを学びます。

ボランティア情報コーナー

会場内に、ボランティア団体などのチラシを集めたコーナーをご用意しています。これから始めてみたい活動や、気になっていたボランティアを見つけるきっかけにしてみませんか。ぜひ足を止めて、ご覧ください。

問合せ

おおた地域共生ボランティアセンター
TEL 3736-5555 FAX 3736-5590



みなさんの参加
お待ちしております!

活動報告



災害ボランティア養成講座 開催報告



災害ボランティア活動を検討している方向けに、7月10日(金)・9月16日(水)の全2回にわたって開催しました。災害ボランティアの参加方法や、活動時に必要な装備品、持ち物について紹介しました。また、災害ボランティア活動中に実際に起きた事例をもとに、自分ならどうするかを考え、参加者同士で意見を交換しあうワークショップを行いました。

参加者コメント



自分では気がつかない視点のお話を伺うことができました。

災害時に何かできるかもしれないと思った。



いつか役に立つことができればと思いました。



大田区で大きな災害が発生した際は、大田区社会福祉協議会に災害ボランティアセンターを設置することが、大田区地域防災計画に明記され、また協定によりその運営を大田区・大田区社協・地域パートナーシップ支援センターの三者で担うことになっています。



絆サポーター・ご近所さんサポーター交流会 開催報告

6月17日(水)に令和8年度第1回Bカフェとして、「絆サポーター・ご近所さんサポーター交流会」を開催しました。Bカフェは、絆サポーターのスキルアップ及びモチベーション維持を目的として行う研修・交流会です。

今回は行動支援カウンセラーの喜々津 博樹氏をお招きし、コミュニケーションの基本や傾聴のコツ、アサーティブコミュニケーションについて学びました。当日は19名の方にご参加いただきました。

絆サポーターにご関心がある方は、下記登録説明会にご参加ください。

参加者コメント

初めての参加でしたので、とても楽しく参考にさせていただく事が多く、勉強になりました。

体験ワークで絆サポートの活動内容が聞けてよかったです。



絆サポーター登録説明会

対象:区内在住
18歳以上の方

日程 10月13日(火)、27日(火)、11月24日(火)---10時~11時開催
11月10日(火)---14時~15時開催
会場 大田区社会福祉センター5階(大田区西蒲田7-49-2)
申込・問合せ 申込フォームもしくは電話(03-5703-8230)にて



— 絆サポーターとは? — 高齢者や産前産後の方等に対して家事支援や見守り活動を行っていただく方です。



夏!体験ボランティア2026 お疲れ様でした

夏!体験ボランティア(以下夏ボラ)は8月31日をもってすべてのプログラムが終了しました。ご参加いただいた皆様、また、受け入れてくださった施設・団体様、ありがとうございました。今年の夏ボラもたくさんの方が参加してくださいました。そのうちのいくつかのようすを紹介します。

1 大森平和の里



参加者コメント

普段高齢の方と接する機会がない中、一緒に活動できて楽しかったです。

施設スタッフコメント

利用者にとっても、普段触れ合うことの少ない世代の方々と接することができて、生き生きとしていました。



2 いきちかクラブ



活動のようす

ボランティア10名程度で活動し、公園の花の手入れや雑草取りをしました。参加した子どもたちも雑草取りや水やりを楽しみました。

3 こどもヶ丘保育園 雑色園

参加者コメント

子どもたちと関わるのはやっぱり楽しいです。



子どもとふれあう機会がないので参加しました。子どもたちが可愛かったです。



活動のようす

園児と、おもちゃ遊びや絵本の読み聞かせをして楽しんでいました。



食品・文房具等のご寄附をありがとうございました

大田区内の企業・団体の皆様から、多くの食品・文房具等のご寄附をいただきました。寄附品は、地域のこども食堂、福祉施設等にお渡し、地域の子どもの支援に役立たせていただきます。(その一部をご紹介します)



株式会社マルハン様
[お菓子]



キヤノン株式会社様
[文房具]



株式会社ニシヤマ様
[おこめ券]



明治安田生命保険相互会社
蒲田営業所様
[食品]



京急開発株式会社様
[食品]

あなたにも できることが きっとみつける!

大田区のボランティアさん募集

日 活動日時 住 住所・活動場所 募 募集人数・対象(男女は限定時表記) 交 交通費 問 問合先 担 担当者

高齢者の方との活動

「下丸子高齢者在宅サービスセンター」は、多彩なプログラムを行い、併設の児童館や近隣の保育所から乳幼児の訪問もあり、世代間交流も盛んです。

センターでは、麻雀の点数計算ができるボランティアの方を広く募集しています。牌を積んだり教えたりしてくれる、高齢者の麻雀のサポートができる方です。

日 毎週月曜日・水曜日・金曜日
 13:20~14:30
 ※週1日だけでも可能

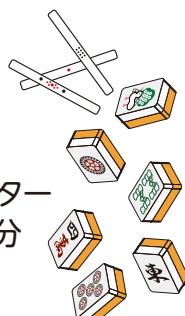
住 下丸子4-25-1
 下丸子高齢者在宅サービスセンター
 東急多摩川線「鵜の木駅」徒歩8分

募 各曜日1名 高校生不可

交 実費支給(上限1,000円)

問 大田区立下丸子高齢者在宅サービスセンター
 ☎03-3750-8701

担 さとう



障がい児・者との活動

「下丸子図書館 拡大写本研究会」では、弱視児童のために、読みやすい大きな文字の教科書を作っています。弱視のこと、文字の大きな教科書のことを知って、ボランティア活動に参加を呼びかけて、一緒に活動できる方を増やしたいです。文字の大きな教科書(拡大教科書)と一緒に作ってくれる人、特にパソコンで作れる人を募集します(手書きもあり)。拡大教科書を作るには、いくつかの約束事があり、それを学習したうえで製作になります。長く活動できる人を希望します。

日 毎月第2・第4水曜日
 10:00~12:00

住 下丸子2-18-11

下丸子図書館多目的室

東急多摩川線「武蔵新田駅」徒歩10分

募 制限なし 高校生不可 筆記用具持参

交 なし

問 大田区立下丸子図書館 ☎03-3759-2454

担 よしまつ



こども支援の活動

「チャリティーサンタ南東京支部」は、クリスマスイヴにサンタクロースとなって、子育て家庭に特別なひとときをお届けしています。

大学生から社会人まで幅広い世代が協力し合い、年に一度の幸せな夜に向けた準備に本気で取り組んでいます。あなたも「ハッピーサプライズ仕掛け人」として、一緒に活動しませんか?

運営ボランティアを募集しています。

日 来年3月31日(水)まで

住 オンライン会議 都内の施設

募 20名18歳以上・高校生不可

10月31日応募締切

繁忙期は12月24日(木)までで週1時間程度自宅での作業と月2回対面で半日ほどの作業(応相談)

繁忙期以外は月1回の全体ミーティングと広報活動

交 なし

問 認定NPO法人チャリティーサンタ南東京支部
 tokyo.south@vol.charity-santa.com

担 たちばな



「おおた地域共生ボランティアセンター」では、新聞紙等で作った「エコバック」を子ども食堂に配布し、喜ばれています。このエコバックを作成するボランティア活動を、月1回開催しています。ハサミやのりなどを使って、ボランティアのみなさんが楽しく丁寧に作成されています。現在、地域の子ども食堂から配布希望があり、一緒に作ってくれるボランティアを募集しています。

日 毎月第2木曜日 13:30~15:00

住 西蒲田7-49-2 大田区社会福祉センター4階

大田区社会福祉協議会・会議室

JR・東急線「蒲田駅」徒歩5分

募 5名程度 高校生は夏休み等可能

ボランティア保険に加入 交 なし

問 おおた地域共生ボランティアセンター

☎03-3736-5555

担 わたなべ ひろせ



活動を希望される方は、詳しくは大田区社協ホームページ等でご確認いただくか、各施設等へ直接電話等でお問い合わせください。

地域における活動

じぶんの居場所「まほろ場」は、誰かと話したい、一人静かに過ごしたい、自分の気持ちも悩みも話せる、緩やかな居場所作りをして5年目になります。学校でもない家庭でもないけれど、安心して信頼できる人がいる第三の居場所として、温かい心で話や悩みにそっと寄り添ってくださる方を募集します。



日 毎週土曜日(第1土曜日を除く月2回以上)
 13:00~18:00(応相談)

住 大森北2-5-11 カトリック大森教会3F

JR「大森駅」または京急線「大森海岸駅」徒歩7分

募 20歳以上の方 交 なし

問 じぶんの居場所「まほろ場」 ☎070-2438-6673

担 きよおか

「シングルファミリー応援フェスタ」は、今年で4回目となるシングル家庭を対象としたイベントです。実行委員会方式で、保護者向けにはキャリア相談、生活相談等を展開し、子ども向けには工作や絵本の読み聞かせ等を実施します。

繋がることの大切さと自分らしく生きていくことの大切さを実感してもらいます。ボランティアの方々には、各ブースの受付、スタッフとしての簡単なサポートをお願いします。

日 令和8年11月3日(火・祝日) 9:30~16:30

住 大森北4-6-7 スマイル大森6階

「大田区男女平等推進センター・エセナおおた」

JR「大森駅」徒歩6分

募 8~10名 高校生可

タオル・飲み物・軽食(当日会場でも購入可能)持参。

交 一律2,000円

問 一般社団法人ともしびatだんだん

☎090-8941-3458 ☎090-2498-6761

担 こんどう はらだ



ボランティアさん募集の最新情報は、大田区社協HPでご覧になれます

令和8年度
地域福祉活動団体支援事業交付
対象団体(83団体)が
決定しました

「地域福祉活動団体支援事業」は、大田区内において地域福祉活動を行う団体が、大田区社協と連携協働して地域共生社会の実現に向けて行う活動を支援する助成金です。このたび、地域福祉活動に取り組む83団体を交付対象団体として決定しました。今後、地域生活課題の解決に向けてのボランティア活動、イベント開催といった事業を積極的に進め、地域共生社会の実現につなげます。なお、本事業は、「歳末たすけあい・地域ふれあい募金」を原資とし、地域住民が本事業の成果を通じて、共同募金活動への理解と共感を高めていくことができるよう取り組みます。



『おもちゃ病院・大田』

おもちゃドクターが
おもちゃ修理活動を行い、
子どもたちの
「ものを大切にする気持ち」
を育てています。

特技ボランティアさん
ご紹介

楽笑一門会

代表 清水 弘子



日本の伝統的芸能である、「南京玉すだれ」です。54本の竹のすだれを自在にあやつり、公共の場や福祉施設等で披露して、皆様に楽しんでいただいています。

玉すだれで、お江戸巡り、大田区巡り、昔話を演じます。また、玉すだれを手にとってもらい、体験してもらいます。月に2回教室で学び、要請があれば区内どこへでも出かけていきます。

「あ、さて、さて、」の掛け声を、宜しく願いいたします。

問合先:おおた地域共生ボランティアセンター ☎03-3736-5555

連載
2回目!

こども笑顔ひろば

こどもも、
子育て世帯も
笑顔になる活動を
ご紹介します

『「縁」が繋がれば、子どもの未来が拓かれる 地域みんなで作った「どこでも児童館」』

NPO法人 子どもの学び場Enne
代表 坂井 耕太郎

今年の夏、私たちは地域の皆さんと「どこでも児童館」を行いました。きっかけは、地域にあった児童館がなくなったことです。夏休みに子どもたちが安心して過ごせる屋内の居場所を、地域のいろいろな場所につくれないか。そんな思いから始まりました。

学校の放課後ひろば、図書館、地域施設などを会場に、タグラグビーやボッチャ、工作、ゲーム、宿題など、さまざまな活動を行いました。



一つの団体だけではできないことも、地域で相談することで形になりました。地域での話し合いの場「いつつのつながりとーく」や小学校のコミュニティスクール、民生委員・児童委員、青少年対策地区委員などと相談し、図書館、スポーツ団体、地域のシニアサークル、子ども食堂、中学生・高校生・大学生など、多くの方々につながりました。

「場所を提供できます」「スポーツなら教えられる」「勉強は教えられるけど見守りはできます」「食事なら協力できま

す」。それぞれができることを持ち寄ることで、子どもたちに体験を届けることができました。

この「どこでも児童館」は、私たち「子どもの学び場Enne」が大切にしていることを形にした活動でもあります。「もっと知りたい」「わからない」「やってみたい」という気持ちを大切に、小さな「できた」を積み重ねる。そのために、地域の人や団体との「縁」をつなぎ、さまざまな学びや体験の機会をつくっていきたいと考えています。子どもたちが自分の可能性に挑戦できる未来を、地域と一緒に拓いていきたいと思っています。



大森南図書館(上)、森ヶ崎緑華園(下)



ホームページ



Instagram



オーちゃんネット

参加者及び
スタッフを、
随時募集
しています!

絆サポート

ほほえみごはん

「ほほえみごはん」は、区内の子育て世帯へ、絆サポーター(地域のボランティア)が月1回程度、食品などをご家庭にお届けする活動です。
ゆるやかにつながりながら地域の子育てを見守り、応援しています。

訪問は
月に1回!

訪問時間 月曜日～土曜日 9時～19時
※日曜日・祝日、年末年始
(12月29日～1月3日)を除く

活動内容 毎回同じお宅へ訪問し、
玄関先で食品を手渡しします。

どんな
食品を
届けるの? パックご飯、袋めん、缶詰、菓子類、
レトルト食品、ジュースなど、
さまざまな食品をお届けします。



何が
届くかは、
毎回の
お楽しみ!

利用者さんの親子と
コミュニケーションを
取れるのが嬉しいです。



山口サポーター▲

利用者の声

簡単に調理できるものがいつも
入っていたのが嬉しかったです。
体調が悪い時に家に食品が
あるので安心できました。



サポーターさんがいつも優しく
私や子どものことを
気にかけてくれて嬉しかったです。

地域の情報や
イベントの情報が得られて
良かったです。



絆サポーターは登録制です。
登録説明会を開催しています。詳しくはP4下段をご覧ください。

絆サポーター交流会を年に数回開催しています。サポーターさん同士の情報交換や交流の
機会になっています。また、2か月に1回食品の発送準備ボランティアも行っており、
ご協力をいただいています。

編集後記

この夏は、熊本地震や千葉豪雨など、日本各地で大きな災害が発生しました。復興には、災害ボランティアの存在が欠かせません。ボランティア活動は、支える側と支えられる側という関係にとどまらず、人と人とのつながりを広げる力があると、あらためて感じています。小さな行動の積み重ねが、暮らしの安心や笑顔につながっていきます。

これからも、身近な活動の情報をわかりやすくお伝えしていきます。ぜひ次号もご覧ください。(廣瀬)